

I 五つ目の武具「救いのかぶとをかぶり」。

かぶとは、敵の攻撃から大切な頭を守る重要な武具。

人間的な救い、人間が作り出した救いでは、対抗できない。神が与えて下さる救い、私達のすべての罪の為にキリストの十字架と復活によって成就した完全な救い（完全な赦しと永遠の命）というかぶと。

「この方（キリスト）以外には、だれによっても救いはありません」（使徒4：12）。

悪魔が「お前なんか救われていない」「もう神は赦されない」「キリストには救いはない。この世には別の救いがあるぞ」と誘惑してくるが、私達の霊的な頭の脳が、それらに惑わされないように、日々、真の唯一の救いであるキリストの救いを日々深くかぶり（信頼し、自分の行いや、他の間違った救いの教えに拠り頼まない）、歩みたい。真の救いを下さった神に感謝しつつ！

「もし、あなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです」（ローマ10：9）。

II 六つ目の武具「御霊の剣、すなわち神のことばを取りなさい」。

1. 「御霊の剣、すなわち神のことば」。

① 剣＝神のみことばは鋭く、悪魔のはかりごとを判別し、やっつける力がある。

「神のことばは生きていて、力があり、^{もうほ}両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫き、心の思いやはかりごとを見分けることができます」（ヘブル4：12）。

② 「御霊の剣、すなわち神のことば」。

i 御霊が人の心を動かし（Iペテロ1：21）、記された神のことば＝聖書。

ii 御霊が、私達に分からせ、必要な時に思い起こさせ私達を整えて下さる神のみことば。

「聖書はすべて神の靈感（直訳：神の息吹。息吹の原語：プニューウマ、風、息吹、息、霊。つまり神の霊、聖霊によるもの。聖書の記者に御聖霊が働かれ聖書を書かせられた）によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です」（IIテモテ3：16）。

※「神である主は、その大地のちりて人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。それで人は生きるものとなった」（創世記2：7）。

人は、大地の土で形造られた時、まだ命のない物体だった。しかし、その鼻に神のいのちの息が吹き込まれた時、生きるものとなった。

同じ様に、聖書も、約40人の記者たちが、聖書を記す時、聖霊なる神が働かれ、神の命の息、神の霊（御聖霊）を吹き込まれ、聖書が誤りのない神の命の御言葉になった。そして、今、私達が、毎朝、毎日、毎週礼拝でいのちの御言葉を読み味わい聞く時、毎回、聖書を通して私達の心に神の命の息吹が吹き込まれ、生かされ強められているのである！何という恵み！

だから、私達は、日々、常に御言葉を心に思い巡らす事は、力！弱り切った私達の心に神の命の息が吹き込まれる。

③ 聖書は本棚に置いたままでは命の力にならない。

それ故にこう言われている→「取りなさい」原語：受け取る、受理する、迎え入れる、受け入れる、容認する、認めるの意。

悪魔の誘惑の言葉を受け入れる、迎え入れる、容認するのではなく、御霊なる神が与えて下さる神の御言葉（聖書は、御霊なる神が記者を通して完成された）を、しっかり受け入れる、受け取る。その時、御霊による御言葉は、私達の心に命の息吹を吹き入れ、励まし、慰め、正しい教えと戒めと矯正と義の訓練（義である主の姿への成長）を与えて下さる。

2. そのために必要な事＝私達のなすべき分。

①何か起きた時だけではなく、日頃から神のことば、聖書を読み、聞き、味わい、心に蓄える。

毎朝のディボーション、毎週の礼拝の御言葉、聖書通読、ノートに記し、思い起こす、思い巡らす、御言葉を暗唱する、御言葉を書く（紙に、手に）、壁（家や教会堂の）の御言葉を見、味わう、御言葉の賛美を聞く、口ずさむ事等を通して。

「幸いなことよ 悪しき者のはかりごとによらず…主のおしえ（みことば）を喜びとし、昼も夜も そのおしえを口ずさむ（思い巡らす）人」（詩篇1：1，2）。

「私はあなたのみことばを心に蓄えます。あなたの前に罪ある者とならないために」（詩篇119：11）。

②いつも共にいて下さる主から目を離さず、主の模範に習う。

悪魔の三度の誘惑に対して、三度とも、聖書に「と書いてある」と神の御言葉で対抗し、悪魔の誘惑に勝利された（マタイ4：3－10）。

主イエスは、まず、神の御霊を受け満たされて（マタイ3：16）、御霊の与える剣である神の御言葉で対戦された。

私達も、まず「御霊に満たされなさい」（エペソ5：18）→そして御霊の与える剣である神の御言葉で悪魔に対抗したい。その時、霊的な勝利がある！

③具体的な御言葉。

i 悪魔が私達を高慢にさせようとする時

→「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与える」ヤコブ4：6。

ii 悪魔がお金、不正な富で惑わそうとする時

→「金銭を愛する生活をせず、今持っているもので満足しなさい。主ご自身が『わたしは決してあなたを見放さず、あなたを見捨てない』」ヘブル13：5。

iii 悪魔が淫らな行い、泥酔、ギャンブル等の誘惑をする時

→「淫らな行いを避けなさい。…あなたがたのからだは、あなたがたのうちにおられる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたはもはや自分自身のものではありません。あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから、自分のからだをもって神の栄光を現わしなさい」

I コリント6：18－20。

iv 赦し、救いの確信を失わせる悪魔の誘惑に対して

→「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます」I ヨハネ1：9。

「今や、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません」ローマ8：1。

「敵であった私たちが、御子の死によって神と和解させていただいたのなら、和解させていただいた私たちが、御子のいのちによって救われるのは、なおいっそう確かなことです」ローマ5：10。

v もう駄目だと思う時

→「民よ どんなきにも神に信頼せよ。あなたがたの心を 神の御前に注ぎ出せ。神はわれらの避け所である」詩篇62：8。

「あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えてくださいます」I コリント10：13。

vi 恐れに支配される時

→「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから」

イザヤ41：10。

vii 悩みや心配、苦しみにだけ心の目を向けさせ、ますます落ち込ませる悪魔の策略に対して、

「信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい」ヘブル12：2

を見つめよう！教会堂の左に！主イエスは、すべてを支配しておられる！